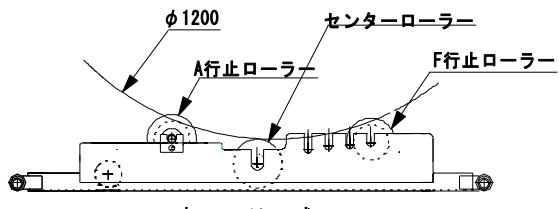
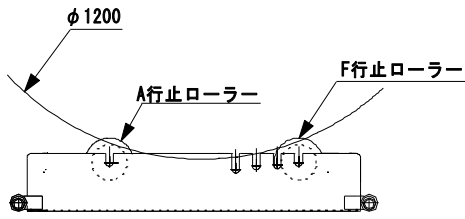


アンダーローラー

New Type アンダーローラー型の主要特徴

1. 原理図

New Type	従来式
 <p style="text-align: center;">3点ローラー式</p>	 <p style="text-align: center;">2点ローラー式</p>
<p>1) センターローラーでドラム荷重の90%以上を負担、2段ベアリング構造としているため重い(1T)ドラムも手廻しスムーズ</p> <p>2) 行止ローラーは脱輪防止用(軽荷重のみ)</p>	<p>1) センターローラーなし</p> <p>2) 行止ローラーにドラム荷重の100%が掛かるため100kgを超えると重くなり手では廻らない。</p>

2. 分解、組立、運搬が軽量のためとても容易にできる。 最大重量は8kg
3. ドラム径の違う沢山のドラムでもスロット穴の位置変えだけで直ぐ作業OK、従って一度手にすると、これまでのドラム廻しに目も呉れなくなるほどの人気品
4. 2段ベアリング式の採用でセンターローラーのハウジング回転とシャフト回転が別々の二重回転となっており、相互補完でよりスムーズな回転を実現しています。
5. ドラム吊パイプが不要 コストセーブと段取りの簡便化がメリットです。
6. ドラム乗せは前段パイプと長尺梃子でノータイムのため、作業者は大歓迎
7. センターローラーと前部行止ローラーにドラムを乗せた時バックする危険をなくするためドラム荷重が若干前倒しになるように前段スロットが設けられています。従って後方行止ローラーは時間的余裕を持って安全にセット出来ます。
8. 標準型はφ520の最小ドラムからφ1450の中型ドラムまで賄えるスーパー型
9. φ1500～φ2000の標準外は別途相談の上製作可能

この機種が加わることで弊社の電線ドラム回転機は全てのドラムが賄えるものとなり、繰

り出したり、巻き込むことが出来るようになりました。手廻し機種と電動機種も揃え対応幅を広げました。

即ち最小の木製ドラム(φ 520mm 200kg 以下)～鉄製極大ドラム (φ 3800mm 50 t 以下)までの回転機が揃えられるようになりました。

鉄製極大ドラム (φ 3800mm 50 t 以下) も標準アンダーローラーの原理で作製出来るため道交法のトレーラー幅 (3.3m) を楽々キープできる、工場から現地に運搬して即電線の繰り出しがトレーラー上で出来る大きなメリットがあります。大型クレーン使用の無駄が省けます。